

下鴨少年補導委員会  
松ヶ崎支部

発行責任者  
支部長 北川 憲一

# 松ヶ崎少年補導だより

## 香港から松ヶ崎に

### 来てからの四年間

松ヶ崎小学校 PTA 会長 今 西 謙 介

ちょうど四年前の三月に私たち家族は、六年半の香港での海外駐在を終えて、松ヶ崎に転入して来ました。もうすぐ春という甘い気持ちと温帯夏雨気候という秋冬が温暖な香港で過ごしてきた我が家にとっては、初めての松ヶ崎の冬が非常に寒く凍えたのを今でも覚えております。電器屋に暖房器具を買って行ってもほぼ売り切れており、四畳半用のオイルヒーターに家族全員で寄り添い、暖を取りました。その経験以来、松ヶ崎の厳しい冬に対する準備には万全をきしております。

転入して来て、まずは生活の基盤づくりの為に、松ヶ崎を探りました。病院はどこへ行けばいいのか、食料品生活用品、本、大好きなパンはどこで買えるのかと歩き回りました。その中で、初めて行った松ヶ崎の地元のお店が、老田町の米・酒店と雲路町の花屋さんです。

香港から転入してきた私たちをお酒屋さんとお花屋さんが温かく迎え入れてくれて、松ヶ崎の生活、小学校のこと、地域のこと、行事のことを教えてくれました。その時の出合い、おもてなしが私を「おやじの会」の入会、「消防分団」の入団、「まっちゃきネットワーク」の入会、PTAへと導いてくれました。感謝の気持ちでいっぱい

です。人との出合い、特に新しい出合いが人生を決めていくことが多いと思いますが、松ヶ崎には素晴らしい人々がたくさん住まれていることをその時に教えられました。

香港で日本人学校に通ってましたが、転入転入も多く、限られた時間での人との付き合い、また普段は高層ビルに囲まれた小さな公園やアパートの狭いキッズルームで遊ぶことも多く、狭いスペース、限られた人たちとの生活でした。

日本での生活、特に小学校の生活を知らない子どもたちが上手く学校に溶け込めるのか、問題を起さないか、穏やかに過ごすことができるのかの不安が私にありました。案の定、子どもたちは落ちつくことができず、苦しんでおりました。そのような状況の中、松ヶ崎で出会った新しい方々の導きもあり、私にできることは何かと考え、積極的に小学校、地域に参加・活動することによって子どもたちが徐々に落ち着いて生活ができるようになるのではと思います、おやじの会に入れて頂きました。

おやじの会は「松ヶ崎の子どもたちのために」を方針に掲げており、PTA、地域団体のサポートをしながら、子どもたちと一緒に楽しむことを目標にしておりです。

おやじの会が主催する主な行事として、六月に「ホテルに連れられまちあるき」があり、泉川、高野川で幻想的に舞っているホテルを子どもたちと観賞し、松ヶ崎の豊かな自然に感謝をするイベントです。八月の「学校に泊まる会」では一年に一回だけ特別に学校に泊めさせていただけ貴重な行事です。子どもたちとカレーを作り、肝試しをし、花火、キャンプファイヤー、天体観測、カブトムシ取りとイベントが盛りだくさんです。いろいろな学年の子どもたちと一緒に泊まることにより、おやじと子どもたち、子ども同士が仲良くなります。秋には新宮神社の秋祭りのお手伝いとして、しめ縄作り、門・提灯の設置をして厳かな八乙女の舞の準備を奉賛会と一緒にを行います。息子は稚児、娘は八乙女をさせて頂きました。

松ヶ崎の一年の中での季節ごとの様々な行事は、節目節目を大切に一生懸命に生きていくことを子どもたちに教える良い機会となっております。新年は涌泉寺の除夜の鐘から始まり、新宮神社の境内からの初日の出と初詣。小学校での正月を楽しくもう会では校庭でのお餅焼き、凧揚げ、どんと焼きを穏やかにしています。二月は新宮神社の節分祭と六年生が毎年頑張っている大文字駅伝の応援。三月には頑張った六年生の卒業式とお世話になった教職員の離任式。四月は宝が池と疏水の桜の花見と新年を迎える会。夏は飯盒炊爨と夏祭り。涌泉寺でのお題目踊りとさし踊りと妙法の山の送り火。秋は区民運動会と子どもフェスティバル。一年中行事が盛りだくさんです。

節目節目の行事を子どもたちと一緒に

緒に過ごすことにより、普段の生活では見られない子どもたちの考えや行動のしかた、友達と仲良くできているのか、学校のルールを守っているのか、教職員の皆様のおっしゃることを素直に聞いているのか。また、こころに秘めている感情を垣間見ることができ、新しい発見をすることがよくあります。

今後は、松ヶ崎の豊かな自然の保存・発展の為に子どもたちと一緒に活動していきます。松ヶ崎の山の里山作りのお手伝い、泉川と高野川のホテル生息地の整備のお手伝い、宝が池のザリガニ池の維持のお手伝い等、十年後、二十年後でもこの松ヶ崎の自然が残っているように活動をしていきたいと思っています。子どもたちとの活動を通して、自然の尊さを理解して貰い、自然への思いやり、優しさの気持ち、守っていく気持ちを持って貰えたいと思います。

昨年から少年補導松ヶ崎支部に入られて頂きました。皆様のお役に立てるように頑張っていきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



正田町 S.S. さん

さしのべる 手のぬくもりを どの子にも

# 自分 自分 自分だよ

松ヶ崎小学校 教務主任

広部 洋介

転機……人生の転機などと言いますが、私にも転機といわれるものが何度かあったように思います。その中の一つを少し思い返してみたいと思います。

もう十四、五年も前の話。あまり記憶は定かではありませんが、次のような話を聞いた時、私の中で何かが大きく動いたのは、はっきりと覚えていません。

かの木村拓哉さんが二十七歳の時、様々な職業に就いている同じ二十七歳の方々と対談するという番組の話。あるバスの運転手さんが「校外学習で貸切バスに乗った時のこと。その運転手さんが難しい駐車場に一発で止められた。すごい腕前だと思った。でも、車内の友達みんな大盛り上がりで、そのことに気づく人は誰もいない。もちろん、運転手さん自身も表情一つ変えない。僕は

その時、この仕事がとてもかっこいい、やりがいがあると感じた。この

仕事をしたと思った。」と、その仕事に就こうと思った理由を話されました。

「将来就きたい職業」といえば、プロスポーツ選手や医師、パティシエなど注目を浴びて活躍する仕事か、思い浮かびますが、彼は少し違ったようです。失敗すれば迷惑をかけるけれど上手くいって当たり前、褒められることも気づかれることもない。でも自分に妥協することなく技術を磨き、仕事に精進する。闘う相手は己自身。そんな姿に彼は心打たれたのでしょいか。私自身、当時は駆け出しで揺らいでいる時期でもありません。彼からの「何をやるか、ではない。どう生きるか、だ。」というメッセージは、そんな私の心に強く響きました。

自分 自分 自分だよ

これは薬師寺の大谷徹英氏の言葉です。それ以来、私が大切にしてい

る言葉です。弱い自分に気づいた時に唱える言葉です。これからも何度も唱えることになる言葉です。

楽しくないと思うなら、自分が思いつき楽しいことをすればいい。

仲良くなれないなら、仲良くなりたいと思われようになりたい。

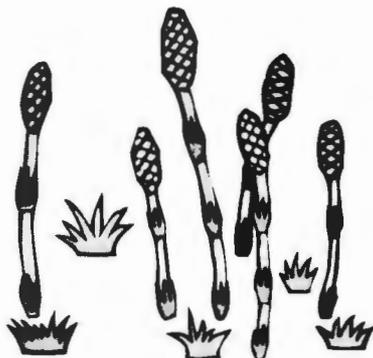
友達の笑顔が見たいなら、自分が最高の笑顔を見せればいい。

相手に分かかってほしいなら、相手を分かろうとすればいい。

難しくできないのなら、簡単になるまで続ければいい。

人と比べるくらいなら、昨日の自分と比べればいい。

自分……自分……自分だよ。



## 窓

### 「子供見守隊の為に」

正田町

蒔田 桂 三

私は毎週水曜日に午前七時四十五分から八時二十分頃まで北泉通り工織東南門の交差点の所で立番をしています。子供たちが事故に遭わないように横断させています。

しかしながら朝八時頃は通勤、通学の車や自転車が多数通るのでたまに目が行き届かない時があります。それでも近頃は子供たちも自覚が出て来て、自分たちも一度とまって左右を確認してから渡るように心がけているように思います。それでも中には、友達と待ち合わせをしている子供たちは、車道と歩道の所でうろうろしているの、急に飛び出さないか心配です。出来るだけ注意するようにしています。

それから高校生の自転車がスピードを出して通り過





# 支部活動 状況報告

前号に引続き、当支部のその後の活動状況につき、ご報告いたします。

- 1 九月三十日 松ヶ崎少年補導だより第五十七号を発刊し、三〇〇部を印刷、市政協力委員さん、隣組長さん方のご協力により、全世帯、関係機関に配布いたしました。
- 2 十月六日 第五十九回区民運動会に協賛参加いたしました。
- 3 十月七日 支部役員会 第二十八回子供フェスティバルについて、催し物や役割分担について検討いたしました。
- 4 十月十四日 松ヶ崎小学校で行われた左京区の自主防災総合訓練に運営スタッフとして参加いたしました。
- 5 十月二十四日 支部役員会 第二十八回子供フェスティバルについて催し内容、役割分担の最終確認を行いました。
- 6 十月二十七日 京都アスニーにて行われた表彰と研修会に出席いたしました。
- 7 十一月三日 第二十八回松ヶ崎子供フェスティバル ゲームや工作コーナーなど、楽しい一日となりました。
- 8 十一月十一日 支部役員研修会および懇親会をアピカルインにて行いました。フェスティバルの反省や来年に向けての話し合いをいたしました。
- 9 十一月十一日 標語掲出 七月に選出された非行防止標語を校区内に掲出しました。
- 10 十一月二十三日 京都工芸繊維大学学園祭構内パトロールを行いました。
- 11 十二月一日 国立京都国際会館で行われた表彰伝達式、並びに委員研修会に参加しました。
- 12 一月十三日 アピカルイン京都で行われた松ヶ崎消防分団出初式に出席しました。
- 13 三月十一日 松ヶ崎少年補導だより第五十八号の編集会議を行いました。
- 14 三月二十一日 松ヶ崎少年補導だより五十八号編集委員会

文字の構成や紙面のレイアウトにつき、手直しいたしました。

その他、青色回転灯装着車によるパトロールを随時実施しております。

また、古紙回収を毎月第四金曜日に行っています。皆様のご協力に感謝いたします。

以上ご報告申し上げます。

支部長 北川 憲一



## 少年補導の歌

東 政治郎 作詞  
蔵田 春平 作曲

- 一、明るい街に 人は和し  
明るい家に 子は伸びる  
大人子供は しっかりと  
心をつなぎ 手をつなぎ  
何でも話す 子になろう  
何でも聞ける 親になろう
- 二、涙する子は ふいてやり  
迷える子には 道教え  
許し励ます 親心  
子供は親の 鏡なら  
我が子他人の 区別なく  
みんなでもそう補導の光
- 三、善意はみのる いつの日か  
あの子はかえる 夢さめて  
真実の愛に 真実に  
こたえてくれた 子の笑顔  
その喜びと 使命こそ  
消してはならぬ 補導の灯